



育ちを伝えるツール ～保育ドキュメンテーション～

豊かな対話につながる

ドキュメンテーションとは…

- ・文章だけでなく、写真がついている記録である
- ・保育者の心が動いた子どもの姿がまとめてある
- ・周りの人と子どものことを考え、共感できるアイテムである

他者（同僚）との対話

子どもとの対話

自身との対話

保護者との対話

大豆生田啓友・岩田恵子「役立つ！生きる！保育ドキュメンテーションの作り方」西東社 2023

多くの園で取り組んでいます

子どもの興味・関心や遊びで何を経験しているのかをタイムリーに伝えることができる。

子どもの姿を伝えることで保護者と育ちを共有できる。

いろんな子どもに目がいき、その年齢の育ちに気付くきっかけになっている。

保育者の子どもの姿の捉え方や文章力の向上につながる。

保育者自身が育ちを振り返られる。

親子で見ながら話をしたり、子ども同士、保護者同士でも話題にしたりできる。

園での子どもの姿が分かり、保護者に安心してもらえる。

気を付けたいこと

- ✓撮影ファーストにならないこと
- ✓業務負担にならないよう、無理なく取り組むこと
- ✓子ども理解につなげること



「保育について考えるきっかけにもなり保育の質もアップする。」 ➡ まずは作ってみよう。